

～ドライバー異常時対応システム「EDSS」の路線バスを導入します～

祐徳自動車株式会社(本社佐賀県鹿島市、代表取締役社長 愛野時興)は、このたび運転士に異常があった際にお客様がボタンを押すことでバスが停止する「ドライバー異常時対応システム」を搭載した路線バスを3台導入しました。昨年導入の貸切バス3台(エレベータ付きも含む)の搭載に続き、路線バスでの同システム導入は今回が初めてとなります。

当社では、これまで先進安全技術でドライバーの運転を支援するシステムを装備した車両の導入のほか、様々な安全に関する投資を行ってまいりました。今後も「安全・安心のバスを提供する」ためにハード・ソフト両面から安全対策に取り組んでまいります。

記





運転士操作用非常ボタン



お客様操作用非常ボタン

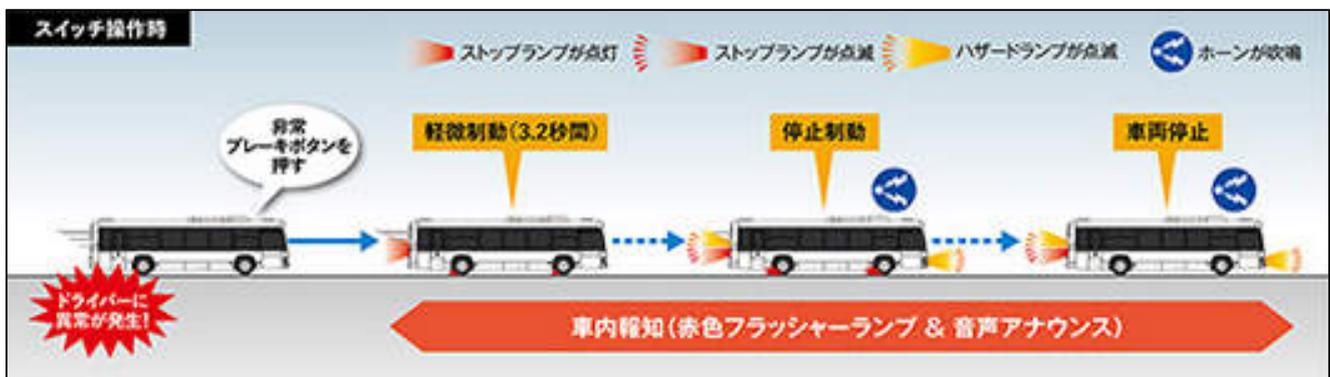


客席からも運転士の様子が分かるように仕切りを透明板化

1 車種 いすゞ自動車 エルガミオ

2 安全装置 ドライバー異常時対応システム (EDSS:Emergency Driving Stop System)

走行中に運転士が急病などで運転操作が出来ない状態になった場合に、運転士自身またはお客様が非常ブレーキスイッチ(ボタン)を押すことで、車両を緊急停止させると共に車外にも異常事態を知らせます。システムが作動すると、バスの速度が徐々に落ち、お立ちのお客様の安全性に配慮したブレーキ制御により停止します。さらに、車外へホーンを吹鳴し、ストップランプとハザードランプを点滅させて異常を知らせます。



【いすゞ自動車販売(株)参考資料抜粋】

【お問い合わせ先】

祐徳自動車(株)CS 推進部

植松/山口

TEL0954-62-4595